

平成26年度 事業報告

荒尾市社会福祉協議会

【概況】

超高齢化・少子社会の進展に伴い、地域社会や家庭機能の変化、更に経済情勢の厳しさなどから、虐待や社会的孤立や貧困など、福祉課題や生活課題は複雑化・深刻化しています。また、介護保険制度の改正により、介護予防が地域支援事業に位置付けられることから、地域におけるネットワークづくりの構築は今後ますます重要となります。

このような中、本会では、地域におけるささえあい活動を重点に、新たに日常生活支援等をメニューに加え、ささえあい活動推進地区の更なる普及を目指し、取り組んで参りました。

また、平成27年度から29年度までの第2期地域福祉活動計画を策定するにあたっては、第1期計画の検証と荒尾市の地域福祉計画との整合性を図りながら、市民からの聞き取り調査を実施し策定いたしました。

26年4月から本格的に実施した障がい者の相談支援事業につきましては、徐々にではありますが件数も増加し、また、ふれあいセンターにおける生活介護事業につきましては、平成24年10月から土曜、祝日を開所しましたが、一年を通して開所したことで25年度と比較すると収益増に繋がりました。

収益事業の売店経営につきましては、消費税増税の影響からか顧客数が減少し、それに伴い売り上げも減少しました。しかしながら、法人への繰出しを従来どおり実施したため、マイナスの決算となりました。

以下、各事業の実施状況について報告いたします。

法人運営部門

【理事会、評議員会】

(1) 理事会開催

回数	開催日	提出議案
第1回	平成26年 5月28日(水)	平成25年度事業報告並びに一般会計決算について 平成25年度収益事業市民病院内売店特別会計決算について 平成26年度一般会計補正予算1号について 評議員の選任について
第2回	平成27年 1月21日(水)	評議員の選任について
第3回	平成27年 3月25日(水)	平成26年度一般会計補正予算2号について 定款変更について 経理規程の制定について 平成27年度事業計画並びに収支予算について

(2) 評議員会開催

回数	開催日	提出議案
第1回	平成26年 5月28日(水)	平成25年度事業報告並びに一般会計決算について 平成25年度収益事業市民病院内売店特別会計決算について 平成26年度一般会計補正予算1号について 理事の選任について
第2回	平成27年 3月25日(水)	平成26年度一般会計補正予算2号について 定款変更について 経理規程の制定について 平成27年度事業計画並びに収支予算について 監事の選任について

(3) 監査

開催日	内容
平成26年5月19日(月)・20日(火)	平成25年度会計監査

【会費、寄付金】

(4) 会費制度

会員件数及び金額は横ばい状況でした。いきいきサロンの事業推進、ボランティア団体等に対する活動支援のための財源としてPRしていきます。

会員加入状況

		一般	賛助	特別	合計
25年度	件数	45	474	33	552
	金額	22,500	474,000	330,000	826,500
26年度	件数	82	455	34	571
	金額	41,000	455,000	340,000	836,000

(5) 香典返し及び一般寄付

家族葬等の普及により、香典返しの寄付件数が減少しつつあります。地域福祉を進めるための重要な財源として、寄付件数が減少しないようPRを図ります。

寄付申込み状況

		香典返し寄付	一般寄付	合計
25年度	件数	401	15	416
	金額	5,092,000	495,775	5,587,775
26年度	件数	395	10	405
	金額	4,512,220	221,286	4,733,506

地域福祉部門
【地域福祉サービス】

(1) ささえあい活動推進地区

26年度よりささえあい活動推進地区として新たなメニューを作り、住民主体の取り組みをスタートさせました。

1、高齢者いきいきサロン事業

平成26年度は5地区より申請があり、37ヶ所の地域で取り組みがされています。行政区ベースで換算すると49行政区で実施されていることとなり、荒尾市の39%の行政区で取り組んでいただいていることとなります。

開設状況

	24年度	25年度	26年度
指定地区数	27	32	37
開設延日数	439	506	566
人員	9,834	10,696	12,334



△貝塚サロン
子供たちと合同七夕交流



△牛水中サロン
子供たちと玉ねぎ堀り交流会

2、買い物支援事業

公民館等で販売会を開いていただき、高齢者が買い物するのに不便な重たいものやかさばる物などを販売しています。26年度は新たに2地区より申請があり、合計4地区で実施されています。

	回数	延べ人員
助丸	12	298
猫宮	19	130
中央	5	97
向一部	6	49
合計	42	574



△猫宮買い物支援販売会

3、日常生活支援

日常生活支援に取り組まれる区も1ヶ所ありましたが活動件数はありませんでした。

◆実施地区 中央区

4、地域住民による見守り体制の整備

平成26年度より申請を開始し、8地区で取り組みを開始されました。見守り担当者を数名配置し、チェックリストを使用しながら要援護者の見守り活動を行っていただいています。

◆実施地区 8地区 東宮内、岱洋東、助丸、万田東、上井手上、大平町、向一部、北増永

◆述べ活動回数 6,045回

5、認知症徘徊見守り模擬訓練

平成27年度の訓練実施をめざして、井手川地区協議会で話し合いが始まりました。

徘徊模擬訓練会議実施 井手川地区協議会

11月16日(日)

2月6日(金)

2月15日(日)

(2) 福祉委員の見守り活動

25年度で任期が終了しましたので、新たに推薦をいただき、26年度から3年の任期で102名の方に委嘱することができました。なり手を探すのが難しい中、多くの地区よりご協力いただき、改選前よりも多くの福祉委員に委嘱することができました。

26年度は地域の情報収集に力を入れた取り組みを行い、地域の悪徳訪問販売などの情報提供を呼びかけました。相談も多く寄せられ、クーリングオフなどを荒尾市消費生活センターと連携して行うこともできました。

福祉委員活動延件数

	24年度	25年度	26年度
相談件数	317	311	403
友愛訪問	9,242	9,456	11,209
情報提供	4,218	4,281	5,143
電話、その他	1,779	1,419	1,317
合計	15,556	15,467	18,072



△福祉委員委嘱状交付式

◆研修などの活動

- 4月 9日（水） 委嘱状交付式 70名参加
 - ・委嘱状の交付
 - ・「福祉委員活動についての説明」
- 6月19日（木） 総会 65名参加
 - ・25年度事業報告、決算、
 - ・26年度事業計画、予算
 - ・「ささえあい活動について説明」
- 11月12日（水） 全体研修会 67名参加
 - 「介護予防の改正について」
- 3月13日（金） 全体研修会 74名参加
 - 「認知症初期集中支援チームの活動について」

◆情報提供強化月間 10月

◆情報収集強化月間 3月

◆情報提供資料の配布

- ・情報提供かわらばんの発行 3回
- ・その他の情報 随時配布

◆一斉友愛訪問日 10月19日（日）、
3月15日（日）

◆地区情報交換会

悪徳商法や日常生活のお役立ち情報を福祉委員どうしでを共有するために地区毎に会議を開催。社協からの情報提供だけでなく、福祉委員どうしの直接的な情報交換ができました。

【会議内容】

- ・他の地区の福祉委員に
お知らせしておきたい情報
- ・地域で実施しているささえあいについて
- ・地域生活を送るうえでの困りごとについて



△府本地区情報交換会の様子

地区情報交換会参加人員

地区名	開催日	人員	地区名	開催日	人員
荒尾	8/28	7	府本	11/7	5
井手川・緑ヶ丘	8/29	8	有明	11/25	5
万田中央	9/28	4	八幡	2/19	7
万田	9/30	8	中央	2/24	5
桜山	10/6	4	平井	2/27	9
清里	10/7	4			

(3) 地域福祉活動計画の策定

第1期計画の期間満了を受け、第2期計画の策定を行いました。地域に暮らす住民の困りごと等のヒアリング調査を実施し、地域のニーズを明らかにして地域福祉をどのように進めていくかを決定しました。

1、ヒアリング

地域のニーズを把握するため生活課題などのヒアリングを住民に対して実施しました。その結果、空き家、買物、子育てなど様々な生活課題およびニーズが浮き彫りとなりました。

ヒアリング 実施者数 197名



△上井手下区ヒアリング



△子育て中の母親へのヒアリングの様子

2、策定委員会

計画策定にあたっては策定委員会を3回開催し、地域の代表者にご意見をいただきました。

策定委員会開催

- 第1回 12月17日(水)
- 第2回 2月17日(火)
- 第3回 3月17日(火)



△策定委員会の様子

(4) 地域福祉活動に対する地域への説明

ささえあい活動が地域に広まるよう、地域に出向くなどして説明会を実施しました。

ささえあい活動などの説明会

	実施回数
24年度	25
25年度	25
26年度	22

説明会などの実施回数 22回

【内訳】

- ささえあい活動全般 9回
- サロン活動 8回
- 徘徊模擬訓練 3回
- 食育関係 2回

(5) ささえあい活動に対する支援

26年度はささえあい活動を実施していただく区に対し、運営支援を重点的に取り組みました。講師やボランティアの紹介、備品の貸出、運営に関するアドバイスなどの支援を行いました。

活動支援回数 65回

(6) 歳末たすけあい事業

温かいお正月を迎えてもらうために歳末に地域の交流事業を開催する区または団体に対し助成を行う歳末たすけあい事業を実施しました。

1、地域活動特別助成事業

地域の交流事業を実施する区または団体に対して材料費の助成を行う事業を実施しました。

	24年度	25年度	26年度
実施数	21ヶ所	26ヶ所	28ヶ所



△助丸区もちつき



△岱洋西区クリスマス交流会

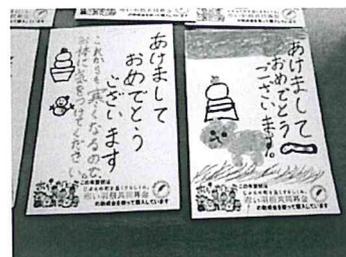
2、年賀状送付事業助成

ひとり暮らし高齢者に年賀状を送付する事業を実施している区に対し年賀状を現物給付する事業を実施しました。

	24年度	25年度	26年度
実施数	9ヶ所	15ヶ所	16ヶ所
助成数	200枚	263枚	278枚



△野中区年賀状助成①



△野中区年賀状助成②

(7) 成年後見制度法人後見受任に向けた取り組み

成年後見制度の法人後見受任体制の整備に向け、職員のスキルアップと実務などの研修を実施しました。

◆研修などの活動

8月20日(水) 21日(木) 2日間

山鹿成年後見センター実務研修 3名参加

11月11日(火) 玉東町社協法人後見受任事業視察研修 2名参加

11月14日(金) 山鹿後見センター主催研修会 2名参加

11月19日(水)～12月8日(月) 5日間

熊本県社協主催 法人後見研修会 2名参加

1月14日(水) 熊本県主催 成年後見事例検討会 1名参加

(8) 地域活動備品貸出事業

備品貸出件数

	24年度	25年度	26年度
鍋	75	69	47
炊飯器	11	10	6
災害時炊き出し釜	15	12	11
調理器具	56	64	66
高齢者疑似体験セット	71	46	40
車いす	45	20	34
パイプ椅子	190	220	110
プロジェクターセット	5	7	18
マイク設備	1	0	8
グランドゴルフセット	315	168	214
遊具	36	43	40
テント	3	3	0

【ボランティアセンター事業】

(9) 災害ボランティアセンター設置訓練

26年度は荒尾市の総合防災訓練の中で実施することができ、多くの市民の皆様にご協力いただき、災害ボランティアセンターを啓発することができました。

【防災会議】 7月24日(木) 1名出席
 8月21日(木) 1名出席
 9月25日(木) 1名出席

【訓練】

- ◆開催日 11月3日(月・祝)
- ◆会場 あらおシティモール駐車場
- ◆内容 災害ボランティアセンターの設置運営の訓練
- ◆参加者 職員22名 ボランティア59名



△受付班



△オリエンテーション班の様子

(10) ボランティア養成講座

手話、点字、朗読の3講座を実施。手話に関しては市の講座を修了された方とサークル会員のフォローアップ講座として実施。点字と朗読講座に関しては修了生の皆さんにサークル加入していただき、ボランティアの底辺拡大につながりました。

養成講座開設状況

	25年度			26年度		
	日数	人員	修了	日数	人員	修了
手話(上級)	38	191	—	40	155	—
手話(中級)	37	304	—	40	312	—
点字	—	—	—	31	87	3
朗読	13	13	1	12	40	2



△点字講座閉講式の様子



△朗読講座の様子

(11) ワークキャンプ

夏休み期間中、市内中高生に福祉体験をするワークキャンプを実施。今年度は荒尾海陽中学校と有明高等学校看護科から申し込みいただきました。

- ◆実施学校 荒尾海陽中 11名
有明高等学校看護科 19名
- ◆実施場所 わがんせ、ふれあい福祉センター、
本村サロン、新町サロン
- ◆実施状況
 - ・7月24日(木) 2名 本村サロン
 - ・7月28日(月) 3名 デイサービスあおば
 - ・7月29日(火) 5名 わがんせ
 - ・7月30日(水) 3名 ふれあい福祉センター
 - ・7月31日(木) 4名 わがんせ
 - ・8月 4日(月) 4名 学童保育あおば
 - ・8月 4日(月) 2名 新町サロン
 - ・8月 6日(水) 5名 わがんせ
 - ・8月 7日(木) 2名 ふれあい福祉センター



△わがんせでの体験の様子



△本村サロンでの体験の様子

(12) 福祉教育の支援

総合学習の一環で行われる福祉体験学習の指導に職員を派遣しました。また、福祉体験学習用に高齢者疑似体験セットや車いすの貸出も行いました。

- ◆車いす体験学習への職員の派遣
 - 日時 6月27日(金)
 - 場所 中央小学校
 - 参加 児童99名
 - 職員3名



△車いす体験学習の様子

- ◆体験学習用具の貸出
 - 6月16日 万田小学校 疑似体験セット12
 - 9月 9日 八幡小学校 疑似体験セット9
 - 9月18日 八幡小学校 車いす
 - 2月23日 有明小学校 疑似体験セット6

(13) 情報誌の発行

年に4回ボランティアの啓発や募集・登録などを目的に情報誌を発行しました。26年度はボランティアの登録を呼びかける記事を重点的に掲載し、登録を進めました。

- ◆発行月 5月、8月、11月、2月
- ◆発行形態 班回覧



△ボランティア情報誌

(14) ボランティアニーズのコーディネート

ボランティアコーディネート数は年々増加しています。ボランティア情報の発行などで啓発に力を入れてきた結果、ボランティアの依頼や登録が増加し、26年度は前年比で83%増となりました。

ボランティアコーディネート数

25年度	60
26年度	110



△ボランティアのコーディネート
(演芸披露ボランティアの紹介)

(15) ボランティア連絡協議会の運営

26年度は健康福祉まつりやボランティアやってみようフェアなどのイベントでボランティアの啓発活動を実施しました。

◆ボランティア連絡協議会総会

- 期 日 5月18日(日)
- 場 所 あらおシティモール2階
シティホール
- 内 容 25年度事業報告
26年度事業計画
記念講演 「万田坑世界遺産とボランティアについて」
講師 万田坑ファン倶楽部 瀬戸 洋氏
荒尾市教育委員会 岩本 崇 氏

◆ボランティアやってみようフェア

- 期 日 11月9日(日)
- 場 所 あらおシティモール 出会いの広場
- 内 容 ボランティアの啓発活動
 - ・各グループによるボランティア体験コーナー
 - ・ボランティアに対する啓発活動
 - ・朗読サークルによる朗読の披露

(16) ボランティア保険事務
ボランティア保険の事務を実施。

	25年度		26年度	
	件数	人数	件数	人数
ボランティア活動保険	34	468	26	489
ボランティア行事用保険	13	624	18	957

在宅生活支援部門
【介護保険事業（介護予防事業）】

(1) 訪問介護事業（ヘルパーステーション）

介護が必要な利用者宅を訪問し、身体介護や家事援助サービスを提供しました。ヘルパーの資質向上の一環として毎月全員で研修を行っています。今年度は外部講師を迎えて排泄介助技術や移乗などの介護技術も勉強しました。また、ヒヤリハット報告書を作成して、事故防止にもより一層努めました。

訪問介護事業利用延件数

24年度	899
25年度	995
26年度	1,103



△職員研修の様子

(2) 訪問入浴事業（ヘルパーステーション）

利用者の個々の身体状況に応じ、迅速に安心して入浴出来るように努めサービスを行いました。サービスの質の向上に取り組み、また感染症予防のため、機材の徹底した消毒と感染マニュアルを活用し実施してきました。

チラシを作成してPRに努めました。また、健康福祉まつり等の催しに浴槽を展示し体験して頂いて、本サービスの目的や効果をアピールしました。

訪問入浴事業利用延件数

24年度	109
25年度	125
26年度	155



△健康福祉まつりでの浴槽展示の様子

(3) 居宅介護支援事業（ヘルパーステーション）

本事業は要介護状態になった場合も、可能な限り、居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるように配慮して相談支援に当たっています。

また、利用者の方の心身状況や家庭環境等に配慮し、利用者の選択に基づくサービス提供が行われるように支援しました。

- 新規利用者の獲得については、荒尾市民病院連携室の定期的（月に2～3回）な訪問や、民生委員の方との会話を通じて、地域の実情を把握することに努めました。
- 荒尾市役所保護係（生活保護担当）、荒尾市地域包括支援センターからの事例困難者（生活保護者等）を積極的に受け入れました。
- 介護保険サミット熊本を始めとする各種研修会に参加し、ケアマネージャーとしての資質向上を図りました。また、事業所内では事例検討会を定期的に開催し、各スタッフの問題を共有化し、対応できる体制を構築しました。

居宅介護支援事業利用延件数

	居宅介護支援	介護予防支援	計
24年度	758	166	924
25年度	700	236	936
26年度	760	310	1,070

(4) デイサービス事業（交流拠点あおば）

看護師による個別機能訓練を取り入れ、ケアの充実を図るとともに、レクリエーション内容を充実させた事で、利用者家族から大変喜ばれました。また、地域の体操教室に出向いて地域住民に在宅福祉事業やサービス内容を周知しました。

デイサービス事業延件数

24年度	199
25年度	201
26年度	226



△デイサービスレクリエーションの様子

【介護保険対象外事業】

(5) 介護保険対象外ホームヘルプ事業（ヘルパーステーション）

介護保険以外のサービスで自立の方や、介護保険の認定を取得しながらも入院等により介護保険を使えなくなった方などにサービスを行いました。

介護保険対象外ホームヘルプ事業利用延件数

	上乗せサービス	横だしサービス
24年度	15	89
25年度	32	66
26年度	4	72

(6) 一次予防事業 地域介護予防支援事業（ヘルパーステーション）

65歳以上の高齢者を対象に健康運動指導士と看護師を公民館へ派遣し、血圧測定や健康体操を実施しました。26年度は新たに6地区が始め、活動地域は順調に増えています。

1年間の支援期間を修了した地域は、自主活動グループになり、地域の皆さんが協力しながら活動を続けています。自主活動後も月1回程度公民館を訪問し、体調確認や運営状況の見守りを行いました。

実施状況

	25年度	26年度
実施地区	17地区	23地区
実施回数	457回	517回
延参加者数	5,700人	6,359人
延派遣者数	927人	1,134人



△運動実施の様子（助丸区）

▽運動実施の様子（万田中区）



今年度の『はつらつ貯筋体操』は2期生を募集し、場所を総合福祉センター会議室に移して継続実施しました。前年度からの継続参加者7名、新規参加者3名で今までの貯筋体操に踏み台運動、荒尾音頭リズム体操等新しい運動を加え、より一層貯筋に努めました。

実施状況

	25年度	26年度
実施回数	21回	43回
延参加者数	204人	289人
延派遣者数	45人	88人



△運動実施の様子



△荒尾音頭リズム体操の様子

(7) 二次予防事業 運動器の機能向上（交流拠点あおば）

要支援・要介護認定の非該当者で、運動器機能が低下している恐れのある方を対象に、10月から半年間、週2回の運動器機能向上トレーニングを実施しました。少ない人数でしたが、個人の体調に合わせた支援ができ、体力に自信をつけて修了されました。参加者は修了後も地域の公民館活動等に参加されています。

介護予防（運動器の機能向上）利用状況

	25年度	26年度
開所日数	47日	45日
延利用者数	378人	171人



△毎月の目標決めの様子

▽運動実施の様子



【障がい福祉サービス事業】

(8) 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業（ヘルパーステーション）

利用者宅を訪問し介護計画に基づき、身体介護や家事援助の支援等を行いました。ヘルパーの資質向上の一環として毎月全員で研修を行っています。今年度は外部講師を迎えて排泄介助技術や移乗などの介護技術も勉強しました。26年度は多くの同行援護に対応できるように、4人の職員が同行援護従事者養成研修を受講して資格を取得しました。

居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業利用延件数

	24年度	25年度	26年度
居宅介護	252	243	198
重度訪問介護	12	12	12
同行援護	44	51	51



(9) 地域生活支援事業（ヘルパーステーション）

地域生活支援事業利用延件数

	24年度	25年度	26年度
移動支援事業	13	11	11
障がい者訪問入浴	12	12	12

(10) 相談支援事業（ヘルパーステーション）

利用者へ福祉サービスの紹介、事業所見学、情報提供、サービス利用計画の作成を行いました。また、自立支援協議会の定例会議、研修等に参加しました。

また、新年度から障害児相談支援を行うための準備を行いました。相談支援のニーズは多く、行政と連携を図りながら、利用者の悩みを少しでも解決できるように取り組みました。

相談支援利用者数

	25年度	26年度
計画相談支援	1	20

(11) 児童発達支援、放課後等デイサービス（ふれあい福祉センター）

平成26年度は、熊本県子ども総合療育センターの専門支援（作業療法士、言語聴覚士、心理士）の依頼回数を増やし、カンファレンスや職員会議の回数を多く持つことで職員間の共通理解を図り、職員のスキルアップに努めました。

児童発達支援利用状況

	25年度	26年度
男 性	230	306
女 性	185	130
合 計	415	436
平 均	2.67	2.69
実施日数	155	162

放課後等デイサービス利用状況

	25年度	26年度
男 性	1,198	1,348
女 性	626	469
合 計	1,824	1,817
平 均	7.6	7.45
実施日数	240	244

地域別利用者数

	25年度	26年度
市 内	307	319
市 外	108	117
合 計	415	436

地域別利用者数

	25年度	26年度
市 内	1,691	1,748
市 外	133	69
合 計	1,824	1,817

(12) 日中一時支援事業（ふれあい福祉センター）

障がい児の家族の就労支援及び障がい児を日常的に介護している家族の休息を目的として、一時的な預かりを行いました。また、重度の身体障害児の受け入れにも力を入れました。

日中一時支援事業利用状況

	25年度	26年度
男 性	107	88
女 性	33	25
合 計	140	113
平 均	3.04	2.4
実施日数	46	47

地域別利用者数

	25年度	26年度
市 内	106	88
市 外	34	25
合 計	140	113

(13) 生活介護事業（ふれあい福祉センター）

常時介護を要する利用者に対し、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供を行っています。

- 運動不足の解消の為、運動など体を動かすことに重点を置いて取り組みました。
- サンアビリティズ大牟田（障がい者向け体育館）など地域資源を活用し、利用者の運動不足の解消に努めました。
- GWや年末年始などの大型連休時に臨時開所を行い、入浴サービスを実施しました。
- 職員のスキルアップのため様々な研修に参加しました。（サービス管理責任者研修など）

生活介護事業利用状況

	25年度	26年度
男性	2,245	2,404
女性	1,414	1,619
合計	3,659	4,023
平均	13.21	13.23
実施日数	277	304

地域別利用者数

	25年度	26年度
市内	2,847	3,147
市外	812	876
合計	3,659	4,023

共同募金会より送
迎車「くまモン号」
受領の際の様子 ▶



(14) 地域活動支援センター事業（ふれあい福祉センター）

障がいをお持ちの方へ入浴、食事、創作的活動、機能訓練、社会適応訓練及びレクリエーション等の機会を提供しています。また必要に応じ利用者の方への介助も行っています。

- ・GWや年末年始などの大型連休時に臨時開所を行い、入浴サービスを実施しました。
- ・地域のボランティアの方を受け入れ、ボランティア育成に取り組みました。

地域活動支援センター利用状況

	25年度	26年度
男性	857	1,057
女性	904	747
合計	1,761	1,804
平均	7.31	7.42
実施日数	241	243

講座別延利用者数

社会適応訓練	パソコン	194
創作的活動	手芸	54
	生花	62
	書道	84
	カラオケ	432
	合計	826

▶ 餅つき大会の様子



地域別利用者数

	25年度	26年度
市内	1,561	1,603
市外	200	201
合計	1,761	1,804

【子育て支援】

(15) 学童保育事業（交流拠点あおば）

ふるさと愛好会との交流を通し、収穫だけでなく、植ええや畑の耕作体験を行いました。

また、児童保護者との面談を密に行う事により、家庭での困り事を支援し、学校生活の変化にも役立てることが出来ました。

学童クラブあおば利用状況

	24年度	25年度	26年度
開設日数（日）	290	291	291
通常登録児童数（名）	34	35	44
登録児童数（名） ※長期休暇のみ	11	22	15
中途退会児童数（名）	3	8	3



△朝の散歩やクッキングを行いました

【総合生活支援】

(16) 生活福祉資金

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支える貸付制度を県社協からの受託により実施しています。26年度は丁寧に償還指導を続けた結果、滞留していたケースも徐々に動きだし、償還が完了するケースが増えてきました。

貸付相談・償還指導等件数

	24年度	25年度	26年度
貸付相談対応	492	479	335
償還指導	299	563	308
申請決定数	11	12	4

(17) 生活資金

26年度は相談件数、貸付件数が増加しました。その日の手持ち金さえほとんどないような申請者が大半でした。

相談・貸付件数

	24年度	25年度	26年度
相談件数	46	40	54
相談延件数	261	226	183
貸付件数	29	26	35

(18) 訪問理美容サービス事業

要介護認定を受けた高齢者や障がい者に理美容サービスを提供しました。26年度はインフルエンザに感染された方が多かったため、利用者数は減少しました。

訪問理美容サービス事業実績

	24年度	25年度	26年度
事業所	184	164	170
利用者	862	810	767

(19) 地域福祉権利擁護事業

認知症や知的・精神などの障害により判断能力が低下されている方に対し、在宅で安心して日常生活を送っていただけるよう、金銭管理や福祉サービスの利用援助などを行っています。26年度は医療機関などからの相談も増え、この事業を知ってもらううえでも関係機関と連携を取りながら丁寧な対応に努めました。また、契約者の高齢化による入院入所が多くなり解約が増加しているため、成年後見制度への移行支援も行いながら、事業実施しました。

地域福祉権利擁護事業実績

	24年度	25年度	26年度
訪問件数	468	447	557
電話対応件数	984	1,288	1,654
新規契約件数	2	3	3
解約件数	5	2	4
年度末契約件数	15	16	15

(20) 心配ごと相談事業

◆相談利用者数 5名 (男 2名、女 3名)

相談処理状況

	24年度	25年度	26年度
解決	9	5	3
再来	0	0	0
民生委員	0	0	0
他機関	4	6	0
その他	0	2	2
合計	13	13	5

(21) 福祉給食事業

身体状況により、買い物や調理等の食事の調達が困難な一人暮らしの高齢者や、高齢者世帯及び障がいを持たれた方を対象に昼食・夕食を配達し、健康状態を維持すると同時に安否確認を行いました。

- ・不定期で利用者に聞き取り調査とアンケート調査を行い、出来るだけ利用者の意見を反映したメニュー作りに努めました。
- ・民児連や校区民協、いきいきサロン等に出向き、福祉給食の周知に努めました。
- ・新規申請については利用者を待たせない様、迅速に配食開始に繋げました。
- ・配食時の安否確認（緊急連絡等）を9件行いました。中には利用者の異変に気づき救急車を要請したケースもありました。

利用人員

	25年度	26年度
昼食	1,409	1,307
夕食	2,663	2,770
合計	4,072	4,077
配食日数	256	256
実人員	250	261

年間配食数

	25年度	26年度
昼食	18,961	17,326
夕食	41,306	42,211
合計	60,267	59,537



△福祉給食を配達している様子です

法人運営部門

【広報、他団体事務、管理運営】

(1) 広報活動

広報紙「社協だより」の文字を大きくして読みやすくしました。これからも「見てもらえる」、「読んでもらえる」紙面づくりに努めていきます。

社協のホームページとフェイスブックをより多くの方に閲覧してもらえるように、周知を図っていきます。

広報紙発行状況

発行回数(回)	配布方法
年6回	全戸配布



△ 新年号はカラー印刷で配布しています

(2) 共同募金、日赤団体事務

共同募金は、「くまモンファイル」、「くまモンバッジ」の資材募金により、募金額の減少をカバーしました。

日赤は、2個人より大口寄付をいただき、前年度同様の金額になりました。

募金実績額

	共同募金	日赤社資
24年度	8,923,165円	7,149,127円
25年度	8,749,237円	7,095,560円
26年度	8,624,630円	7,081,840円



△くまモンバッジ

(3) 災害見舞金事業

災害見舞金支払件数

	件数
25年度	5件
26年度	5件

(4) 法外援護事業

行路困難者旅券配布状況

	件数
25年度	14件
26年度	10件

(5) 実習生受入れ

実習別受入状況

種 別	25 年度		26 年度	
	人数	延人数	人数	延人数
社会福祉援助技術現場実習	0	0	4	92
訪問介護員養成研修（実習）	16	48	17	51

(6) 職場体験事業

福祉・介護に関心を有する学生や離職者等に対して、職場体験を行う機会を提供する本事業に昨年に引き続き取り組みました。事業周知を広報紙、ホームページにより行いました。

利用状況

受入事業名	25 年度		26 年度	
	体験人数	延体験人数	体験人数	延体験人数
地域介護予防支援事業	2	6	0	0
デイサービス	6	18	0	0
生活介護事業	2	6	3	9

(7) 総合福祉センター管理運営

利用状況

	25 年度		26 年度	
	件数	利用人員	件数	利用人員
老人団体関係	1	15	1	20
身体障がい者関係	0	0	0	0
市役所	30	635	26	607
民生委員	61	938	52	572
遺族会	0	0	0	0
保護司会	0	0	6	120
社協	91	1,216	96	1,341
児童関係	0	0	0	0
その他	13	410	12	302
計	196	3,214	193	2,962

(8) ふれあい福祉センター管理運営

利用状況

	25年度		26年度	
	件数	利用人員	件数	利用人員
障がい者関係	152	686	143	643
ボランティア	196	1,345	224	1,563
民生委員	12	194	12	192
保健所	0	0	0	0
学校関係	0	0	0	0
公務	72	671	24	123
社協	20	175	15	133
地域住民	0	0	0	0
その他	40	590	37	474
計	492	3,661	455	3,128

(9) 潮湯管理運営

利用状況

	25年度			26年度		
	利用人員	敬老月間	計	利用人員	敬老月間	計
市内利用者	29,437	601	30,038	30,751	636	31,387
市外利用者	1,387	32	1,419	1,519	33	1,552
計	30,824	633	31,457	32,270	669	32,939

※平成 25 年 7 月 16 日～8 月 13 日まで、ろ過機故障によりシャワー浴のみで営業。